

あなたとまちと フェイス to フェイス

ごあいさつ

平素は、私ども中兵庫信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

ここにお届けします「中兵庫信用金庫の現況」は、2024年度の業務活動や業績の推移を中心に、地域とのかかわり等をわかりやすく編集したものです。ご高覧の上、〈なかしん〉に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

昨年度を振り返りますと、2016年1月から続いた日本銀行のマイナス金利政策が解除され、久し振りに金利のある世界が戻ってまいりました。また、日経平均株価が史上最高値を更新するとともに、春闘賃上げ率もバブル期以来の伸びを記録するなど、幅広い分野で「デフレからの脱却」「インフレ経済への回帰」が見られました。

このような環境下にありましたが、当金庫はおかげさまで会員の皆さまからは変らぬご支援を賜り、当期純利益1,232百万円を計上することができました。また、経営の安全性・健全性の指標である自己資本比率は29.81%、自己資本額も600億円となり、十分ご安心いただける内容であると思います。

2025年度に入りまして、4月に大阪・関西万博が開幕し、会期中には2,800万人を超える来場者が見込まれており、関西の地域・経済への好影響が期待されるなど、成長と分配の好循環が動き始めています。しかし、地方経済を支える中小企業にとってその恩恵は限定的で、賃上げや人材確保、物価上昇、価格転嫁などの様々な課題に同時に向き合わなくてはならなくなっています。

当金庫としましては、将来にわたって地域やお客様とともに発展し続けるためにも、引き続き様々な経営課題の解決や各種ニーズへの対応を通じて、地域やお客様の持続可能な経営や地域づくりに貢献するとともに、当金庫自身も高い健全性を維持しつつ、地域金融機関としての経営基盤を更に確固たるものにしていく所存です。

今後とも、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのますますのご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げます。

2025年7月



理事長 足立 厚郎

